

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第41号

「垣根のカナメモチ」

2022年9月26日

天空の里付近にカナメモチの生垣があります。新芽が赤くきれいな木です。その生垣をよく見ると、ヤブガラシ、ヘクソカズラ、クズなどの植物がまきついて生息しています。今回は、これらの植物に集まる虫たちを観察していきます。 幼虫が苦手な方はご注意ください。



新芽は赤い!、カナメモチ

セスジスズメガの幼虫はヤブガラシの葉が大好きです。ホシヒメホウジャクとコスズメガの幼虫はヘクソカズラの葉が好きです。

モンクロギンシャチホコの幼虫は、バラ科の植物を食べるらしいです。ただ、あたりを探してもトゲのあるバラのような植物は見つかりません。よく考えてみるとカナメモチはバラ科。分類が苦手な私は、すっかり忘れていました。



セスジスズメガの幼虫とヤブガラシのはっぱ

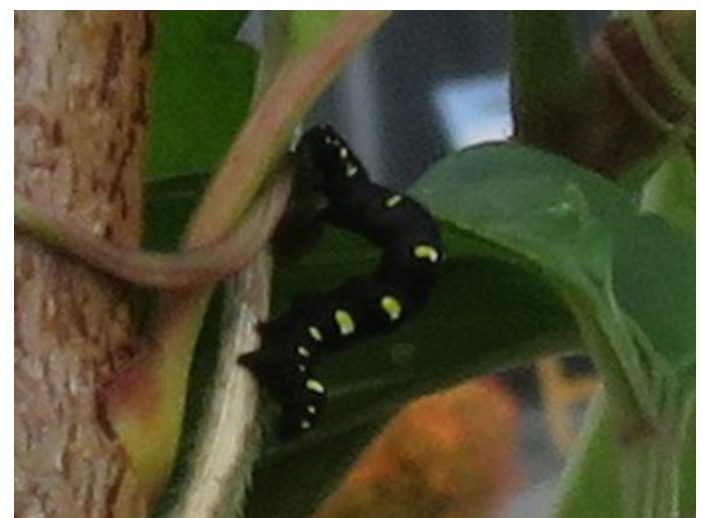


ホシヒメハウジャクの幼虫とヘクソカズラの蔓

さらに観察していると、黒地に白い模様でシャクトリムシのような動きのキレイな幼虫を見つけました。昆虫に詳しい知人に聞いてみると、ヒメエグリバの幼虫だということがわかりました。もう少し成長すると赤い模様が入りもっとキレイになります。ヒメエグリバの幼虫はアオツツラフジしか食べないんだそうで、近くを探してみると本当にありました。外来植物が多い昨今、あまり見ない植物です。私は初めて見ました。ヒメエグリバにとってアオツツラフジはなくてはならない植物です。あまり見かけないアオツツラフジを見て、外来植物の危険性を再認識した日でした。



コスズメガの幼虫とヤブガラシの蔓

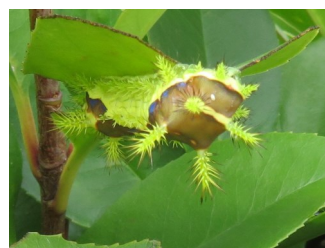


ヒメエグリバの幼虫とアオツツラフジ

天空の里

鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい

※観察時の注意



カナメモチには、葉の裏にイラガの幼虫がいる事もあります。注意しながら観察してみましょう。